

事業委員会だより（職域班）

■ 「職域班」を担当するにあたって

担当理事 篠原修彦

「職域班」を担当するにあたって、班会議に参加するなどして、状況把握が必要なのですが、担当が決まったときには班会議も終了し、皆さんの意見を聞くこともできないという状況でした。

さらに、職域班の会員皆さんは時期的に忙しいときであり、一堂にお集まりいただくことも無理とのことなので、私が皆さんの現場に直接出向いてお話しを聞くことにしました。

そうすることで、私の都合をセンターに伝え各職域班と打合せをしていただき、日程のすり合わせをお願いした次第です。その結果、8月9日に草刈班の活動現場5か所を訪問することができ、草刈班の会員の約半数の方にはお会いすることができたと思います。

仕事中であることから、じっくりとお話しを聞けたわけではありませんが、事故に対する心配りや、水分補給などの体調管理に心がけて作業に携わっていることがとてもよくわかりました。また、場所によっては草刈り機の使用にはとても苦勞が多いという、技術的なこともお聞きすることができました。

しかしながら、まだ草刈班という一つの班のほんの一部の職場を訪れただけにすぎません。今後の訪問先が班体制をとっている職場だけに限られるかもしれませんが、できるだけ多くの現場にお伺いして、当役として「為すべきこと」をつかめるよう努めたく思っています。

皆さま方のご協力をよろしくお願いいたします。

事業委員会だより（地域班）

■ 平成28年度先進シルバー研修

事業委員会（地域班）では、先進シルバーの研修として八幡市シルバーを訪問しました。

会員拡大についての取り組みについて、先方役員（理事・監事）による説明の後、先方役員と当方役員・地域役員間での意見交換をしました。八幡市シルバーでは、現在会員数592人、地域班は15班あり、多い班では90人、少ない班は10人未満で構成されていて、多い班の内4地区には副班長を設置しているとのこと。

地域班長の役割がセンターと会員のパイプ役であるのは当センターと同様ですが、班長・会員間のコミュニケーションをとることを目的に、数年前に30班を15班に再編成し、班長は単なる訪問に留まらず、顔を合わせて話をする、センターからの配布物がポスティングのみとなる場合メモ用紙や名札をあわせて入れておく等、パイプ役を促進する工夫をされていました。

日 時 平成28年8月18日（木）午前9時50分～11時50分

場 所 公益社団法人八幡市シルバー人材センター

参加人員 11名



先方 関東事務局長進行



当方 篠原理事あいさつ